

# 令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益財団法人文化財虫菌害研究所

## 1 講座・セミナー育成事業

令和5年度については、一部中止したものもあるが、次のとおり予定どおり開催した。

機関誌「文化財の虫菌害」の発行、虫菌害防除に関する雑誌、文化財 IPM 関連のパンフレットは、必要に応じて増刷した。

### (1) 研修会・講習会事業

#### (ア) 文化財の虫菌害・保存対策研修会

時期 令和5年6月12日、13日

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 76名

#### (イ) 文化財防虫防菌処理実務講習会

時期 令和5年10月5日、6日

場所 家の光会館コンベンションホール

参加者 77名

#### (ウ) 文化財 IPM 実践のための研修会 中止。

#### (エ) 文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会と試験

時期 講習会 令和5年12月7日、8日、試験（郵送方式）12月8日～27日

場所 飯田橋レインボービル大会議室

参加者 172名

#### (オ) 文化財の虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験

時期 令和6年2月19日～21日

場所 飯田橋レインボービル大会議室

参加者 受講64名、受験68名

### (2) 図書・資料刊行事業

#### (ア) 機関誌の刊行

「文化財の虫菌害」 No.85（6月）、No.86（12月）

#### (イ) 文化財の虫菌害防除に関する専門的な図書・資料

①文化財の虫菌害防除と安全の知識 2019年 増刷

②文化財の殺虫・殺菌処理標準仕様書 2019年 増刷

③見てわかる文化財 IPM 増刷

④おもな害虫・カビカレンダー 増刷

### (3) 各資格者数の現況

作業主任者資格者は一定の人数であるのに対し、文化財 IPM コーディネータ資格者は年々増加傾向にある。

(ア) 文化財虫菌害防除作業主任者資格保有者数 915名

(イ) 文化財 IPM コーディネータ資格保有者数 992名

### (4) 広報活動と他団体主催事業への参加

#### (ア) 広報

・公益財団法人日本博物館協会 機関誌等への広告掲載（年13回）

- ・全国美術館会議 機関誌への広告掲載（年2回）
- ・文化財保存修復学会 機関誌への広告掲載（年1回）
- (イ) 講師等で参加した他団体事業
  - ・令和5年度全国昆虫施設連絡協議会 講師（岩田泰幸）
    - 時期 令和5年11月21日
    - 会場 清泉寮自然学校 ケンタッキーツルガオカ（山梨県北杜市）
    - 主催 KEEP 協会
  - ・神奈川県立川崎図書館資料移転に係る資料保存研修
    - 時期 令和6年3月19日
    - 会場 神奈川県立川崎図書館（神奈川県川崎市）
    - 主催 神奈川県教育局

## 2 調査・指導・研究事業

令和5年度については、調査、殺虫殺菌処理効果判定業務自体は従前どおり実施した。文化財等の保管・管理施設における虫菌害を把握するための調査、文化財の虫菌害防除のための殺虫・殺菌処理効果の判定の実施状況は次のとおりである。

### (1) 文化財等に対する虫菌害防除に関する調査・指導事業

#### (ア) 総合環境調査

本調査は、当研究所の職員が文化財等の保管・管理施設に出向き、目視や環境把握のための機器や補虫用のトラップを設置し、虫・カビの存否や存在する場合はその種類の把握等を行い、それらに対応した適切な文化財等の保管・管理方法や虫・カビの防除対策について指導・助言を行うものである。

令和5年度は、下記の6施設の調査を実施した。

- ①すみだ北斎美術館（東京都墨田区）
- ②平塚市美術館（神奈川県平塚市）
- ③東京都庭園美術館（東京都港区）
- ④さいたま市大宮図書館（埼玉県さいたま市大宮区）
- ⑤武蔵野美術大学美術館・博物館（東京都小平市）
- ⑥おぶせミュージアム・中嶋千波館（長野県小布施町）

#### (イ) 調査セットによる虫・カビ被害調査

本調査は、文化財等の保管・管理施設へ環境測定セットを送り適切な場所に設置し、虫・カビが付着したものを返送してもらい、虫・カビの把握等を行うものです。捕獲、採取した虫・カビは同定作業（虫・カビの種類・数等を確定すること）を行い、それらに対応した適切な文化財の保管・管理方法や虫・カビの防除対策について指導・助言や提案を行っている。

令和5年度の実施状況は、下記のとおりである。

- ①昆虫調査セット 6セット
- ②カビ調査セット 12セット
- ③昆虫同定検査 1件

### (2) 虫菌害防除のための処理（燻蒸等）の効果判定事業

本事業は、文化財等に対する虫菌害の防除措置（燻蒸等）を行う際に、十分な効果を挙げたかどうかを判定することにより防除措置が適切に行われたか否かを確認するものである。令和5年度は次のとおりである。

(ア) 燻蒸処理効果判定業務 対象館 840 館

供試虫 3,799 本

供試菌 2,806 枚

殺虫処理効果判定書 1,077 通

殺菌処理効果判定書 814 通

(イ) 燻蒸受託 1 件

3 検査・検定事業

本事業は、文化財に対する虫菌害の防除に使用される薬剤・器材について、文化財への影響、防除効果、安全性の観点から適切なものを認定するものである。

令和 5 年度は新規の登録はなく、登録数は変化なく 29 種であった。

4 価格改定

文化財の虫菌害防除の研究・指導、文化財虫菌害防除作業主任者資格・文化財 IPM コーディネータ資格付与、文化財 IPM に関する研修・講習会・試験、殺虫・殺菌処理効果判定事業等に係る価格について、改定を行った。

施行は令和 6 年度からとする。

例：	現行	改定後
「文化財虫菌害防除作業主任者資格登録手数料」	15,000 円	16,000 円
「文化財 IPM コーディネータ資格登録手数料」	5,000 円	10,000 円
「殺虫・殺菌処理効果判定用テストサンプル」	1,045 円	1,210 円

その他

5 理事会、評議員会、委員会関係

令和 5 年度に開催した理事会、評議員会は次のとおりである。その他委員会の開催はなかった。

(1) 理事会

第 1 回

- 議題
- 1) 令和 5 年度第 1 回評議員会開催について
  - 2) 文虫研の現況報告
  - 3) 令和 4 年度事業報告および決算報告について
  - 4) 職務執行状況報告

第 2 回

- 議題
- 1) 令和 5 年度第 2 回評議員会開催について
  - 2) 事業の状況報告
  - 3) 令和 6 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
  - 4) 受講料等の価格改定とそれに伴う関係規程の改正について
  - 5) 委員会委員の選任について
  - 4) 業務執行状況報告

(2) 評議員会

第 1 回 書面による決議

- 議題 令和 4 年度事業報告および決算報告について

## 第2回 書面による決議

- 議題
- 1) 文虫研の事業状況報告と令和6年度事業計画案および収支予算案について
  - 2) 理事会による受講料等の価格改定とそれに伴う関係規程の改正について
  - 3) 理事会による委員会委員の選任について

## 6 会員

令和5年度の会員登録者数は241社（個人含む）、内訳は、次のとおりである。

・普通維持会員（甲）：博物館、美術館、寺社、大学図書館等	51
・普通維持会員（乙）：個人	73
・特別維持会員（甲）：防除会社等	104
・特別維持会員（乙）：薬剤メーカー等	10
・賛助会員	1
・機関誌購読会員	2